

新 旧 対 照 表

改 正 後	改 正 前
<p><b>第 1 賦課基準</b>            (隠ぺい仮装に基づく<u>合併前事業年度等の欠損金相当額の損金算入に係る重加算税の課税年度</u>)</p> <p>6 <u>法人税法第 81 条の 9 第 4 項</u>……………<u>他の連結法人が合併の日の前日又は残余財産の確定の日</u>……………<u>同項に規定する連結法人が合併の日の属する連結事業年度又は残余財産の確定の日の翌日の属する連結事業年度</u>……………</p> <p>……………</p> <p>……………</p>	<p><b>第 1 賦課基準</b>            (隠ぺい仮装に基づく<u>分割前事業年度等の欠損金相当額の損金算入に係る重加算税の課税年度</u>)</p> <p>6 <u>法人税法第 81 条の 9 第 3 項</u>……………<u>被合併法人又は分割法人が合併又は分割型分割の日の前日</u>……………<u>合併又は分割型分割の日の属する連結事業年度</u>……………</p> <p>……………</p>
<p><b>第 2 重加算税の計算</b>            (重加算税を課す連結留保金額の計算等)</p> <p>4 <u>連結親法人が特定同族会社</u>……………<u>法人税法第 81 条の 13 第 1 項(連結特定同族会社の特別税率)</u>……………</p> <p>(1) ……………</p> <p>(2) ……………</p>	<p><b>第 2 重加算税の計算</b>            (重加算税を課す連結留保金額の計算等)</p> <p>4 <u>連結親法人が同族会社</u>……………<u>法人税法第 81 条の 13 第 1 項(連結同族会社の特別税率)</u>……………</p> <p>(1) ……………</p> <p>(2) ……………</p>
<p>(廃 止)</p> <p>(廃 止)</p>	<p><b>第 3 各連結法人の重加算税の負担額の計算等</b>            (各連結法人の重加算税の負担額の計算の基本原則)</p> <p>1 <u>法人税法施行令第 155 条の 15 第 2 項の規定により、連結親法人が連結子法人から重加算税の負担額の全部又は一部を受け取らないこと及び連結子法人が連結親法人から重加算税の負担額の減少額の全部又は一部を受け取らないことは、法人税法第 81 条の 6 第 6 項において準用する同法第 37 条第 7 項に規定す</u></p>

改 正 後	改 正 前			
<p style="text-align: right;">(廃 止)</p>	<p><u>る経済的な利益の供与に該当することとされている。</u></p> <p><u>この場合における各連結子法人の重加算税の負担額又は重加算税の負担額の減少額については、各連結法人の個別所得金額の増減額など重加算税が生じた原因等を勘案して合理的に計算した金額によることとなるのであるが、当該連結子法人の負担額又は負担額の減少額を次の算式により計算した金額とし、これを連結親法人に支払い、又は連結親法人から受け取ることとしているときは、経済的な利益の供与はないものとする。</u></p> <p><u>(算式)</u></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;"> <u>当該連結子法人の 重加算税の負担額 又は重加算税の 負担額の減少額</u> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">           ≡ 重加算税額 ×         </td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;"> <u>当該連結子法人の重加 算税の負担基準額 各連結法人の重加算税 の負担基準額の合計額</u> </td> </tr> </table> <p><u>(注) 上記算式により連結子法人の重加算税の負担額又は重加算税の負担額の減少額を計算している場合には、連結親法人のこれらの金額は上記算式に準じて計算した金額となる。</u></p> <p><u>(重加算税の負担基準額)</u></p> <p><b>2</b> <u>第3の1の算式の「重加算税の負担基準額」とは、当該連結法人の連結所得金額に係る重加算税の負担基準額と当該連結法人の連結法人税の税額調整に係る重加算税の負担基準額の合計額をいう。</u></p> <p><b>(1)</b> <u>当該連結法人の連結所得金額に係る重加算税の負担基準額 当該連結法人の重加対象個別所得金額等に重加対象連結所得のうち当該重加対象連結所得に係る法人税額の占める割合を乗じた金額をいう。この場合の重加対象個別所得金額等とは、次に掲げる項目に応じ、それぞれ次により計算した金額の合計額をいう。以下同じ。</u></p>	<u>当該連結子法人の 重加算税の負担額 又は重加算税の 負担額の減少額</u>	≡ 重加算税額 ×	<u>当該連結子法人の重加 算税の負担基準額 各連結法人の重加算税 の負担基準額の合計額</u>
<u>当該連結子法人の 重加算税の負担額 又は重加算税の 負担額の減少額</u>	≡ 重加算税額 ×	<u>当該連結子法人の重加 算税の負担基準額 各連結法人の重加算税 の負担基準額の合計額</u>		

改 正 後	改 正 前
	<p>イ <u>連結グループ全体で損金算入額や益金不算入額の限度額計算を行う項目</u></p> <p>(イ) <u>損金算入額の限度額計算を行う項目</u> 更正等があった後のその項目に係る連結グループ全体の損金不算入額から当該連結法人に係る不正事実がないものとして計算した場合に計算される損金不算入額を減算した金額</p> <p>(ロ) <u>益金不算入額の限度額計算を行う項目</u> 当該連結法人に係る不正事実がないものとして計算した場合に計算される益金不算入額から更正等があった後のその項目に係る連結グループ全体の益金不算入額を減算した金額</p> <p>(注) <u>例えば、交際費等又は寄附金の損金不算入額の計算をする場合において、その連結法人のみに不正事実に基づく非違事項があり、かつ、他の連結法人に何ら非違事項がないときであっても、当該非違事項に基因して当該他の連結法人において損金不算入額の個別帰属額が生じ得るが、重加対象個別所得金額等の計算に当たっては、当該非違事項に係る損金不算入額の全額が当該連結法人の重加対象個別所得金額等になるのであるから、当該連結法人の損金不算入額の個別帰属額の増加額と重加対象個別所得金額等とは必ずしも一致しないことに留意する。</u></p> <p>ロ イに掲げる項目以外の項目 当該連結法人の不正事実に基づく否認額又は認容額。この項目に該当するものとしては、不正事実に基づく売上げ等の収入の除外や架空経費の計上などがある。</p> <p>(2) <u>当該連結法人の連結法人税の税額調整に係る重加算税の負担基準額</u> 更正等により不正事実に基づきいずれかの連結法人の法人税法第81条の18第1項に規定する税額調整金額が異動した場合において、次に掲げる項目ごとにそれぞれ次に掲げる方法に準じて計算した金額の合計額をいう。</p> <p>イ <u>連結グループ全体で同項各号に掲げる金額の計算を行う項目</u> (1)のイの</p>

改 正 後	改 正 前
	<p><u>計算方法</u></p> <p>ロ <u>イに掲げる項目以外の項目 (1)のロの計算方法</u></p> <p>④ <u>法人税法以外の法人税に関する法令の規定により税額調整金額に加算し又は減算することとされているものについても同様とする。</u></p> <p><u>なお、各連結法人の重加算税の負担額の計算例を示すと別添のとおりである。</u></p>

改 正 後

(廃止)

改 正 前

別 添

1 連結グループの状況

- (1) 当連結グループは、連結親法人P並びに連結子法人S 1及びS 2の3社により構成されている。
- (2) Pは、資本金120,000,000円の非同族会社である。
- (3) 調査対象連結事業年度は、平成14年4月1日から平成15年3月31日までの連結事業年度であり、S 1及びS 2はその期間を通じてPと連結完全支配関係を有している。

2 当初申告（期限内申告）の状況

(1) 別表一の二（一）の状況

連結所得金額 11,700,000円  
 法人税額 3,744,000円 ――― ①  
 (追加税額及び控除税額はない。)

(2) 個別帰属額の届出書の状況

イ Pの状況

個別所得（欠損）金額 8,850,000円  
 法人税個別帰属額 2,832,000円

ロ S 1の状況

個別所得（欠損）金額 5,850,000円  
 法人税個別帰属額 1,872,000円

ハ S 2の状況

個別所得（欠損）金額 △3,000,000円  
 法人税個別帰属額 △960,000円

(3) 別表四の二の状況

区 分	総 額
当期利益又は当期欠損の額の合計額	10,000,000
仮 計	10,000,000
寄附金の損金不算入額	1,700,000
連結所得金額又は連結欠損金額	11,700,000

―― ②

(4) 別表四の二付表の状況

イ Pの状況

区 分	総 額
当期利益又は当期欠損の額	8,000,000
寄附金の損金不算入額の個別帰属額	850,000

―― ③

改 正 後

改 正 前

個別所得金額又は個別欠損金額	8,850,000
----------------	-----------

ロ S1の状況

区 分	総 額
当期利益又は当期欠損の額	5,000,000
寄附金の損金不算入額の個別帰属額	850,000
個別所得金額又は個別欠損金額	5,850,000

④

ハ S2の状況

区 分	総 額
当期利益又は当期欠損の額	△3,000,000
寄附金の損金不算入額の個別帰属額	0
個別所得金額又は個別欠損金額	△3,000,000

⑤

(5) 別表十四の二の状況

イ 損金不算入額の計算

(イ) 支出した寄附金の額（全額がその他の寄附金額）

$$= P \text{ 支出分 } 1,000,000 \text{ 円} + S1 \text{ 支出分 } 1,000,000 \text{ 円}$$

$$= 2,000,000 \text{ 円} \text{ --- } ⑥$$

(ロ) 所得基準額

$$\text{⑥} \quad \text{②}$$

$$= (2,000,000 \text{ 円} + 10,000,000 \text{ 円}) \times 2.5 / 100 = 300,000 \text{ 円} \text{ --- } ⑦$$

(ハ) 資本基準額

$$\text{資本金} \quad \text{資本積立金額}$$

$$= (120,000,000 \text{ 円} + 0 \text{ 円}) \times 12 / 12 \times 2.5 / 1,000 = 300,000 \text{ 円} \text{ --- } ⑧$$

(ニ) 損金算入限度額

$$\text{⑦} \quad \text{⑧}$$

$$= (300,000 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円}) \times 1 / 2 = 300,000 \text{ 円} \text{ --- } ⑨$$

(ホ) 損金不算入額

$$\text{⑥} \quad \text{⑨}$$

$$= 2,000,000 \text{ 円} - 300,000 \text{ 円} = 1,700,000 \text{ 円} \text{ --- } ⑩$$

ロ 個別帰属額の計算

(イ) Pの個別帰属額

$$\text{⑩} \quad P \text{ 支出分} \quad \text{⑥}$$

$$= 1,700,000 \text{ 円} \times 1,000,000 \text{ 円} / 2,000,000 \text{ 円} = 850,000 \text{ 円}$$

(ロ) S1の個別帰属額

$$\text{⑩} \quad S1 \text{ 支出分} \quad \text{⑥}$$

$$= 1,700,000 \text{ 円} \times 1,000,000 \text{ 円} / 2,000,000 \text{ 円} = 850,000 \text{ 円}$$

改 正 後

改 正 前

**3 各連結法人における調査に基づく否認事項**

P…………棚卸商品計上漏れ	10,000,000 円 (過少対象)
S 1…………売上除外	5,000,000 円 (重加対象)
S 2…………その他の寄附金の増加	3,000,000 円 (重加対象)

**4 修正申告の状況**

(1) 別表一の二(一)の状況

連結所得金額	29,475,000 円
法人税額	9,432,000 円 ———— ⑩
(追加税額及び控除税額はなし。)	

(2) 個別帰属額の届出書の状況

イ Pの状況

個別所得(欠損)金額	18,895,000 円
法人税個別帰属額	6,046,400 円

ロ S 1の状況

個別所得(欠損)金額	10,895,000 円
法人税個別帰属額	3,486,400 円

ハ S 2の状況

個別所得(欠損)金額	△315,000 円
法人税個別帰属額	△100,800 円

(3) 別表四の二の状況

区 分	総 額
当期利益又は当期欠損の額の合計額	10,000,000
棚卸商品計上漏れ	10,000,000
売上除外	5,000,000
仮計	25,000,000
寄附金の損金不算入額	4,475,000
連結所得金額又は連結欠損金額	29,475,000

————— ⑫

(4) 別表四の二付表の状況

イ Pの状況

区 分	総 額
当期利益又は当期欠損の額	8,000,000
棚卸商品計上漏れ	10,000,000
仮計	18,000,000
寄附金の損金不算入額の個別帰属額	895,000

————— ⑬

————— ⑭

改 正 後	改 正 前												
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 70%;">個別所得金額又は個別欠損金額</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">18,895,000</td> </tr> </table>	個別所得金額又は個別欠損金額	18,895,000										
個別所得金額又は個別欠損金額	18,895,000												
	<p>ロ S 1 の状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">区 分</th> <th style="width: 30%;">総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期利益又は当期欠損の額</td> <td style="text-align: right;">5,000,000</td> </tr> <tr> <td>売上除外</td> <td style="text-align: right;">5,000,000</td> </tr> <tr> <td>仮計</td> <td style="text-align: right;">10,000,000</td> </tr> <tr> <td>寄附金の損金不算入額の個別帰属額</td> <td style="text-align: right;">895,000</td> </tr> <tr> <td>個別所得金額又は個別欠損金額</td> <td style="text-align: right;">10,895,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">⑮</p>	区 分	総 額	当期利益又は当期欠損の額	5,000,000	売上除外	5,000,000	仮計	10,000,000	寄附金の損金不算入額の個別帰属額	895,000	個別所得金額又は個別欠損金額	10,895,000
区 分	総 額												
当期利益又は当期欠損の額	5,000,000												
売上除外	5,000,000												
仮計	10,000,000												
寄附金の損金不算入額の個別帰属額	895,000												
個別所得金額又は個別欠損金額	10,895,000												
	<p>ハ S 2 の状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">区 分</th> <th style="width: 30%;">総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期利益又は当期欠損の額</td> <td style="text-align: right;">△3,000,000</td> </tr> <tr> <td>仮計</td> <td style="text-align: right;">△3,000,000</td> </tr> <tr> <td>寄附金の損金不算入額の個別帰属額</td> <td style="text-align: right;">2,685,000</td> </tr> <tr> <td>個別所得金額又は個別欠損金額</td> <td style="text-align: right;">△315,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">⑯</p>	区 分	総 額	当期利益又は当期欠損の額	△3,000,000	仮計	△3,000,000	寄附金の損金不算入額の個別帰属額	2,685,000	個別所得金額又は個別欠損金額	△315,000		
区 分	総 額												
当期利益又は当期欠損の額	△3,000,000												
仮計	△3,000,000												
寄附金の損金不算入額の個別帰属額	2,685,000												
個別所得金額又は個別欠損金額	△315,000												
	<p>(5) 別表十四の二の状況</p> <p>イ 損金不算入額の計算</p> <p>(イ) 支出した寄附金の額（全額がその他の寄附金額）</p> <p style="text-align: right;">= P 支出分 1,000,000 円 + S 1 支出分 1,000,000 円 + S 2 支出分 3,000,000 円</p> <p style="text-align: right;">= 5,000,000 円 ⑰</p> <p>(ロ) 所得基準額</p> <p style="text-align: right;">⑰ ⑫</p> <p style="text-align: right;">= (5,000,000 円 + 25,000,000 円) × 2.5 / 100 = 750,000 円 ⑱</p> <p>(ハ) 資本基準額</p> <p style="text-align: center;">資本金          資本積立金額</p> <p style="text-align: right;">= (120,000,000 円 + 0 円) × 12 / 12 × 2.5 / 1,000 = 300,000 円 ⑳</p> <p>(ニ) 損金算入限度額</p> <p style="text-align: right;">⑱ ㉑</p> <p style="text-align: right;">= (750,000 円 + 300,000 円) × 1 / 2 = 525,000 円 ㉒</p> <p>(ホ) 損金不算入額</p> <p style="text-align: right;">⑰ ㉒</p> <p style="text-align: right;">= 5,000,000 円 - 525,000 円 = 4,475,000 円 ㉓</p> <p>ロ 個別帰属額の計算</p> <p>(イ) P の個別帰属額</p> <p style="text-align: right;">㉓ P 支出分 ⑰</p> <p style="text-align: right;">= 4,475,000 円 × 1,000,000 円 / 5,000,000 円 = 895,000 円</p>												



改 正 後

改 正 前

(ロ) S 1 の個別帰属額

$$\frac{\text{㉒}}{\text{S 1 支出分}} \times \text{㉓} = 4,475,000 \text{ 円} \times 1,000,000 \text{ 円} / 5,000,000 \text{ 円} = 895,000 \text{ 円}$$

(ハ) S 2 の個別帰属額

$$\frac{\text{㉒}}{\text{S 2 支出分}} \times \text{㉓} = 4,475,000 \text{ 円} \times 3,000,000 \text{ 円} / 5,000,000 \text{ 円} = 2,685,000 \text{ 円}$$

5 加算税の計算

(1) 修正申告による増加税額

$$\text{㉔} - \text{㉕} = 9,432,000 \text{ 円} - 3,744,000 \text{ 円} = 5,688,000 \text{ 円}$$

(2) 重加対象以外の連結所得金額及び税額の計算

イ 連結所得金額の計算

区 分	総 額	
当期利益又は当期欠損の額の合計額	10,000,000	
棚卸商品計上漏れ	10,000,000	
仮 計	20,000,000	㉖
寄附金の損金不算入額	1,575,000	
連結所得金額又は連結欠損金額	21,575,000	㉗

ロ 寄附金の損金不算入額の計算

(イ) 支出した寄附金の額（全額がその他の寄附金額）

$$= \text{P 支出分 } 1,000,000 \text{ 円} + \text{S 1 支出分 } 1,000,000 \text{ 円} = 2,000,000 \text{ 円} \text{ --- } \text{㉘}$$

(ロ) 所得基準額

$$= (\text{㉘} + \text{㉙}) \times 2.5 / 100 = (2,000,000 \text{ 円} + 20,000,000 \text{ 円}) \times 2.5 / 100 = 550,000 \text{ 円} \text{ --- } \text{㉚}$$

(ハ) 資本基準額

$$= (\text{資本金} + \text{資本積立金額}) \times 12 / 12 \times 2.5 / 1,000 = (120,000,000 \text{ 円} + 0 \text{ 円}) \times 12 / 12 \times 2.5 / 1,000 = 300,000 \text{ 円} \text{ --- } \text{㉛}$$

(ニ) 損金算入限度額

$$= (\text{㉚} + \text{㉛}) \times 1 / 2 = (550,000 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円}) \times 1 / 2 = 425,000 \text{ 円} \text{ --- } \text{㉜}$$

(ホ) 損金不算入額

$$= \text{㉘} - \text{㉜} = 2,000,000 \text{ 円} - 425,000 \text{ 円} = 1,575,000 \text{ 円}$$

改 正 後

改 正 前

△ 税額の計算

㉒

$$21,575,000 \text{ 円} \times 32\% = 6,904,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉓$$

(3) 重加対象の増加税額の計算

㉒

㉓

$$9,432,000 \text{ 円} - 6,904,000 \text{ 円} = 2,528,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉔$$

(4) 重加算税額の計算

㉔

$$2,528,000 \text{ 円} \rightarrow 2,520,000 \text{ 円} \times 35\% = 882,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉕$$

(5) 過少対象の増加税額の計算

㉕

①

$$6,904,000 \text{ 円} - 3,744,000 \text{ 円} = 3,160,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉖$$

(6) 過少申告加算税額の計算

㉖

$$3,160,000 \text{ 円} \times 10\% = 316,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉗$$

6 重加対象個別所得金額等の計算

(1) Pの重加対象個別所得金額等

$$\text{重加対象の異動要因がない} \rightarrow 0 \text{ 円} \text{ ————— } ㉘$$

(2) S1の重加対象個別所得金額等

イ S1の不正所得がないものとした場合の寄附金の損金不算入額の計算

(イ) 支出した寄附金の額（全額がその他の寄附金額）

$$\begin{aligned} &= \text{P支出分 } 1,000,000 \text{ 円} + \text{S1支出分 } 1,000,000 \text{ 円} + \text{S2支出分 } 3,000,000 \text{ 円} \\ &= 5,000,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉙ \end{aligned}$$

(ロ) 所得基準額

㉙

⑫

⑮

$$\begin{aligned} &= (5,000,000 \text{ 円} + (25,000,000 \text{ 円} - 5,000,000 \text{ 円})) \times 2.5 / 100 \\ &= 625,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉚ \end{aligned}$$

(ハ) 資本基準額

資本金 資本積立金額

$$= (120,000,000 \text{ 円} + 0 \text{ 円}) \times 12 / 12 \times 2.5 / 1,000 = 300,000 \text{ 円} \text{ ————— } ㉛$$

(ニ) 損金算入限度額

㉚

㉛

$$= (625,000 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円}) \times 1 / 2 = 462,500 \text{ 円} \text{ ————— } ㉜$$

(ホ) 損金不算入額

改 正 後

改 正 前

$$\frac{35}{=} 5,000,000 \text{ 円} - \frac{36}{462,500 \text{ 円}} = 4,537,500 \text{ 円} \text{ ----- } 38$$

(へ) S 1 の重加対象否認 (認容) 額

$$\frac{37}{=} 4,475,000 \text{ 円} - \frac{38}{4,537,500 \text{ 円}} = \frac{40}{\Delta 62,500 \text{ 円}} \text{ ----- } 40$$

ロ S 1 の重加対象個別所得金額等

$$\frac{41}{=} 5,000,000 \text{ 円} + \frac{40}{(\Delta 62,500 \text{ 円})} = 4,937,500 \text{ 円} \text{ ----- } 41$$

(3) S 2 の重加対象個別所得金額等

イ S 2 の不正所得がないものとした場合の寄附金の損金不算入額の計算

(イ) 支出した寄附金の額 (全額がその他の寄附金額)

$$= \text{P 支出分 } 1,000,000 \text{ 円} + \text{S 1 支出分 } 1,000,000 \text{ 円} = 2,000,000 \text{ 円} \text{ ----- } 42$$

(ロ) 所得基準額

$$= \frac{42}{(2,000,000 \text{ 円} + 25,000,000 \text{ 円})} \times \frac{43}{2.5/100} = 675,000 \text{ 円} \text{ ----- } 43$$

(ハ) 資本基準額

$$\frac{44}{=} \frac{\text{資本金}}{(120,000,000 \text{ 円} + 0 \text{ 円})} \times \frac{\text{資本積立金額}}{12/12 \times 2.5/1,000} = 300,000 \text{ 円} \text{ ----- } 44$$

(ニ) 損金算入限度額

$$= \frac{45}{(675,000 \text{ 円} + 300,000 \text{ 円})} \times \frac{46}{1/2} = 487,500 \text{ 円} \text{ ----- } 45$$

(ホ) 損金不算入額

$$\frac{47}{=} 2,000,000 \text{ 円} - \frac{46}{487,500 \text{ 円}} = 1,512,500 \text{ 円} \text{ ----- } 46$$

(へ) S 2 の重加対象否認 (認容) 額

$$\frac{48}{=} 4,475,000 \text{ 円} - \frac{47}{1,512,500 \text{ 円}} = 2,962,500 \text{ 円} \text{ ----- } 47$$

ロ S 2 の重加対象個別所得金額等

$$\frac{49}{=} 2,962,500 \text{ 円} \text{ ----- } 48$$

改 正 後

改 正 前

**7 過少対象個別所得金額等の計算**

(1) Pの過少対象個別所得金額等

$$\begin{aligned} & \frac{\text{⑭} \quad \text{⑮} \quad \text{⑯} \quad \text{⑰}}{=} \frac{((895,000 \text{ 円} - 850,000 \text{ 円}) - 0 \text{ 円}) + 10,000,000 \text{ 円}}{=} 10,045,000 \text{ 円} \text{-----} \text{⑱} \end{aligned}$$

(2) S1の過少対象個別所得金額等

$$\begin{aligned} & \frac{\text{⑰} \quad \text{⑱} \quad \text{⑲}}{=} \frac{(895,000 \text{ 円} - 850,000 \text{ 円}) - (\Delta 62,500 \text{ 円})}{=} 107,500 \text{ 円} \text{-----} \text{⑳} \end{aligned}$$

(3) S2の過少対象個別所得金額等

$$\begin{aligned} & \frac{\text{⑲} \quad \text{㉑} \quad \text{⑳}}{=} \frac{(2,685,000 \text{ 円} - 0 \text{ 円}) - 2,962,500 \text{ 円}}{=} \Delta 277,500 \text{ 円} \text{-----} \text{㉒} \end{aligned}$$

**8 重加算税の負担基準額**

(1) Pの負担基準額

重加対象個別所得金額等が0円→0円

(2) S1の負担基準額

$$\begin{aligned} & \frac{\text{㉒} \quad \text{㉓} \quad \text{㉔} \quad \text{㉕}}{=} \frac{4,937,500 \text{ 円} \times 2,528,000 \text{ 円} / (4,937,500 \text{ 円} + 2,962,500 \text{ 円})}{=} 1,580,000 \text{ 円} \text{-----} \text{㉖} \end{aligned}$$

(3) S2の負担基準額

$$\begin{aligned} & \frac{\text{㉖} \quad \text{㉗} \quad \text{㉘} \quad \text{㉙}}{=} \frac{2,962,500 \text{ 円} \times 2,528,000 \text{ 円} / (4,937,500 \text{ 円} + 2,962,500 \text{ 円})}{=} 948,000 \text{ 円} \text{-----} \text{㉚} \end{aligned}$$

**9 重加算税の負担額**

(1) Pの負担額

負担基準額が0円→0円

(2) S1の負担額

$$\begin{aligned} & \frac{\text{㉚} \quad \text{㉛} \quad \text{㉜} \quad \text{㉝}}{=} \frac{882,000 \text{ 円} \times 1,580,000 \text{ 円} / (1,580,000 \text{ 円} + 948,000 \text{ 円})}{=} 551,250 \text{ 円} \end{aligned}$$

(3) S2の負担額

$$\begin{aligned} & \frac{\text{㉚} \quad \text{㉛} \quad \text{㉜} \quad \text{㉝}}{=} \frac{882,000 \text{ 円} \times 948,000 \text{ 円} / (1,580,000 \text{ 円} + 948,000 \text{ 円})}{=} \end{aligned}$$

改 正 後	改 正 前
	<p style="text-align: center;">=330,750 円</p> <p><b>10 過少申告加算税の負担基準額</b></p> <p>(1) Pの負担基準額</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\frac{\text{㊸} \quad \text{㊹} \quad \text{㊺} \quad \text{㊻} \quad \text{㊼}}{=10,045,000 \text{ 円} \times 3,160,000 \text{ 円} / (10,045,000 \text{ 円} + 107,500 \text{ 円} + (\Delta 277,500 \text{ 円}))}</math> <math display="block">=3,214,400 \text{ 円} \text{-----} \text{㊽}</math> </p> <p>(2) S1の負担基準額</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\frac{\text{㊾} \quad \text{㊿} \quad \text{㋀} \quad \text{㋁} \quad \text{㋂}}{=107,500 \text{ 円} \times 3,160,000 \text{ 円} / (10,045,000 \text{ 円} + 107,500 \text{ 円} + (\Delta 277,500 \text{ 円}))}</math> <math display="block">=34,400 \text{ 円} \text{-----} \text{㋃}</math> </p> <p>(3) S2の負担基準額</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\frac{\text{㋄} \quad \text{㋅} \quad \text{㋆} \quad \text{㋇} \quad \text{㋈}}{=\Delta 277,500 \text{ 円} \times 3,160,000 \text{ 円} / (10,045,000 \text{ 円} + 107,500 \text{ 円} + (\Delta 277,500 \text{ 円}))}</math> <math display="block">=\Delta 88,800 \text{ 円} \text{-----} \text{㋉}</math> </p> <p><b>11 過少申告加算税の負担額</b></p> <p>(1) Pの負担額</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\frac{\text{㋊} \quad \text{㋋} \quad \text{㋌} \quad \text{㋍} \quad \text{㋎}}{=316,000 \text{ 円} \times 3,214,400 \text{ 円} / (3,214,400 \text{ 円} + 34,400 \text{ 円} + (\Delta 88,800 \text{ 円}))}</math> <math display="block">=321,440 \text{ 円}</math> </p> <p>(2) S1の負担額</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\frac{\text{㋏} \quad \text{㋐} \quad \text{㋑} \quad \text{㋒} \quad \text{㋓}}{=316,000 \text{ 円} \times 34,400 \text{ 円} / (3,214,400 \text{ 円} + 34,400 \text{ 円} + (\Delta 88,800 \text{ 円}))}</math> <math display="block">=3,440 \text{ 円}</math> </p> <p>(3) S2の負担額</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\frac{\text{㋔} \quad \text{㋕} \quad \text{㋖} \quad \text{㋗} \quad \text{㋘}}{=316,000 \text{ 円} \times \Delta 88,800 \text{ 円} / (3,214,400 \text{ 円} + 34,400 \text{ 円} + (\Delta 88,800 \text{ 円}))}</math> <math display="block">=\Delta 8,880 \text{ 円}</math> </p>